

札幌市児童会館及び札幌市こども人形劇場の 指定管理者の選定結果について

1 選定委員会開催経過

- 第1回 令和4年7月21日 募集要項、選定方法等について
第2回 令和4年9月22日 面接審査、選定

2 選定委員会委員

委員7名(市職員1人、外部委員6人)

委員長	大澤 真平	札幌学院大学人文学部人間科学科 准教授
委員	金 昌 震	札幌大学女子短期大学部子ども学科 准教授
委員	齋藤 優希	利用者代表 (札幌市子ども・子育て会議公募委員)
委員	日向 洋喜	利用者代表 (NPO 法人 E-LINK 代表理事)
委員	折原 博樹	公認会計士 (桶谷・折原・板倉公認会計士共同事務所)
委員	山口 民枝	社会保険労務士 (山口民枝社会保険労務士事務所)
委員	佐藤 学	札幌市子ども未来局子ども育成部長

3 応募団体

団体名

公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会 (※現指定管理者)

非公募により応募を求めた理由:別紙のとおり

4 選定結果(指定管理者候補者)

- (1) 選定された団体 公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会
代表者 理事長 野崎 清史 札幌市西区宮の沢1条1丁目1番10号
- (2) 選定の理由

公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会の提案書は、管理運営業務の各要求水準を満たしており、施設の設置目的や役割に沿った事業目標を策定している点や、職員の専門性を高めるための人材育成や新規採用に係る取組を計画している点、こども人形劇場の職員配置において効率的な運営ができる体制を計画している点において評価できる内容となっている。また、児童クラブの運営や障がいのある児童の受入れにおける取組が、保護者の安心につながるものと評価できる。

以上の点を踏まえると、公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会は、児童会館等の設置目的の達成に有効な運営方針に基づき、施設の効用を最大限発揮できる具体的な事業計画を示しており、管理運営を安定して行うだけの経営能力と組織体制を備えていると判断できる。

(3) 評価結果

選定基準	基礎配点	候補者
①平等利用の確保	5点	4.2点
②施設の効用の発揮	40点	32.6点
③安定経営能力	50点	37.2点
④管理費用の縮減	20点	10.2点
⑤児童会館の運営に当たって、必要なノウハウを備えていること	40点	32.4点
⑥こども人形劇場の運営に当たって、必要なノウハウを備えていること	15点	11.0点
⑦その他	30点	23.6点
合 計	200点	151.2点
得点率	—	75.6%

(4) 指定期間 令和5年(2023年)4月1日～令和10年(2028年)3月31日の予定

5 その他

令和4年第4回定例市議会において、公の施設の指定管理者の指定の件について議案を提出する予定。

子ども未来局子ども育成部放課後児童担当課 TEL011-211-2989

札幌市児童会館及び札幌市こども人形劇場の指定手続を非公募により行った理由

1 児童会館

児童会館の指定管理者となった団体には、長期的な視点に立った継続的な事業運営や人材育成、ノウハウの蓄積が必要であり、特に利用者である児童を始め、その保護者や地域住民との継続的な信頼関係を構築することが重要である。また、児童会館がその設置目的を達成するためには、事業内容の企画立案等を札幌市と指定管理者とが一体となって行う必要があることから、札幌市が継続的かつ積極的な関与を行うことができる団体を指定管理者とする必要がある。

今回応募を求めた公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会(以下「財団」という。)については、子どもを心身ともに健やかに育成するため、異年齢交流や地域交流を積極的に行うなど、施設の設置目的に沿った多様な事業を企画・立案しているほか、障がいのある児童の受け入れに当たっては、巡回指導や保護者との面談を行うなどの配慮を行うことで、障がい特性に応じた受入れ環境を整えることができている。

また、「子育てサロン」では、子育て親子の交流の場、情報交換の場、乳幼児の遊び場として、利用者のニーズに対応した様々な取組が効果的に進められていること、「子ども運営委員会」では子どもの意見を積極的に運営に取り入れるとともに、まちづくりへの関心を深めるための取組を実施していることなど、いずれの事業においても評価できる取組内容となっている。

以上のことから、これまで指定管理者として児童会館の管理運営を良好に行ってきたこと、札幌市が強く関与することのできる財団に申込みを求めたものである。

2 こども人形劇場

同劇場の指定管理者は、人形劇の担い手を育成しながら自らも人形劇を制作し発表することが求められており、蓄積してきたノウハウを生かし、長期的な視点に立って継続的な事業運営や人材育成に取り組む必要があることから、これまで指定管理者として同劇場を運営し、人形劇に関する実績が豊富な財団に申込みを求めたものである。